

東京都知事選挙、いよいよスタート



——2020年東京都知事選挙の対応について——

都民本位の都政に転換させ、いのち、くらしを守ろう！**千代田区労働組合協議会常任幹事会**

東京都知事選挙は、6月18日告示、7月5日投開票で行なわれる。

東京都政は、新型コロナ対応の対策強化、私たちの命と暮らし、営業、雇用を守る、福祉、教育、医療など住民福祉の増進を図ることが求められている。

4年間の小池都政は、安倍政権にすり寄り、福祉、教育、医療、中小企業対策などの切実な都民要求に背を向けてきた。また、超高層ビルを林立させる大規模開発・都市再生、1メートル1億円もかかる外郭環状道路建設などの大規模開発を進め、都市環境と都民生活を悪化させ、一極集中を加速させている。

さらに、小池都知事は、オリンピックの見直し、築地市場の存続、待機児童ゼロ、残業ゼロ、介護離職ゼロ、多摩格差ゼロなど4年前の自らの公約を反故にし、都民を裏切って平気である。

新型コロナの対応では、相談・検査体制、医療体制の不十分さ、「感染症に弱い東京」が明らかになったが、小池都知事にはその認識が薄い。第2波、第3波に備えた感染防止と経済活動の両立が求められているが、検査体制の強化、都立病院・保健所などの医療体制の強化には後ろ向きである。

一方で、都民要求に背を向ける小池都政の転換を求めて、新型コロナ禍の中でも東京で市民と野党の共闘の前進が追求され、実ることとなった。私たちはおおいに歓迎するものである。

今回の東京都知事選挙では、宇都宮けんじ氏（前日本弁護士連合会会長）が立候補した。宇都宮けんじ氏の基本政策は、①新型コロナ感染症から都民の命を守る医療体制の充実と自粛・休業要請等に対する補償の徹底②都立・公社病院の独立行政法人化は中止し、これまで以上に充実強化を図る③カジノ誘致計画は中止する④学校給食の完全無償化を実現し、子どもの貧困をなくす⑤都立大授業料を当面半額にし、誰もが学べる東京にする⑥都営住宅の新規建設、家賃補助制度、公的保証人制度の導入などで住まいの貧困をなくす⑦公契約条例の制定、非正規労働者を正規雇用にする⑧災害対策の強化を図る⑨外環道など大規模道路建設は、地域住民の意見に耳を傾け、見直す⑩羽田新飛行ルートに反対する⑪CO2排出削減、再生可能エネルギーの普及など、地球温暖化対策を強め、東京の緑と都市農業を守る——などとなっている。

上記の宇都宮けんじ氏の基本政策は、区労協方針ともその方向性において合致するものであり、区労協として、2012年に区労協が宇都宮けんじ氏を支持したのと同様に、今回の東京都知事選挙で宇都宮けんじ氏の当選に向け支持して取り組んでいくこととする。

2020年6月18日

千代田区労働組合協議会常任幹事会

以上

.....
*千代田区労協通信バックナンバー/http://www.chyda-kr.org/kuroukyou_news2020.htm

※皆さんからの投稿、感想・ご意見などお待ちしております